

## 問 スポーツ団体の現状と普及

答 二団体があり今後協議

田中

少子高齢化が進む今日、スポーツ振興は重要だ。幅広い年代が参加できるスポーツ推進に教育委員会の指導性が必要と考える。町内には日本体育協会の傘下の類似団体が二つあるが、現在の制度のあり方を見直す時期と考える。

川上教育長

スポーツ振興は地域の活性化、元気な町づくりの源と考えている。自主的・主体的な活動を促進するためにライフスタイル、年代に応じたプログラムの作成と共に参加しやすい機会と場作りが大切。

津野町体育協会・津野げんき倶楽部共に団体の活動と教育委員会事業が複雑に関係している現状がある。今後、組織を一本化する方向に両者と協議していく。



寒さにも負けず

## 問 高齢者の健康と福祉行政は

答 組織のあり方を議論

田中

高齢者のためのスポーツ・レク活動等について、現在は教育委員会・住民福祉課・社協が担当している。それぞれの部署が津野げんき倶楽部とも連携して取り組み、組めば効率的で活発な事業が出来るのではないかと。

池田町長

高齢者が健康づくりに多く参加している現状がある。それぞれの部署が議論しながら津野げんき倶楽部のあり方についても議論をして育成につなげる。また、津野町での振興のあり方・組織のあり方を議論していく。

川上教育長

現在、津野げんき倶楽部・包括支援センター・社協・里楽など多くの機関・団体が健康保持・生きがい対策事業を行っている。導入時の目的・制度など様々な問題もあるが、新たな視点での施策も必要と考えている。

